

俳人協会福島県支部 第三十八回俳句大会成績

日時 令和六年六月二十六日(水)
場所 郡山市立中央公民館

坂本宮尾特選(本部選者)

抽出しに父の算盤終戦日

郡山市 斎藤万亀子

摘み草や原発廃炉棟をちに

田村市 橋本 研二

春の地震のがれて生きて拝む墓

南相馬市 宮本みさ子

飯塚恒夫特選

シンプルに生きし卒寿や花筵

会津坂下町 荒木 幸子

片言に相槌やさし桃の花

南相馬市 大杉 恵子

この海に生くる証しの海苔を掻く

福島市 佐藤 和子

猪狩行々子特選

文集にきらめく未来梅ひらく

福島市 佐藤 和子

闇に聞く冬の怒濤や能登想ふ

北茨城市 大塚 淳子

牡丹粗朶花の記憶を束ねけり

郡山市 村越 知枝

石橋林石特選

路線バス乗りこむ子等に風光る

会津坂下町 荒木 幸子

一茶忌や生家に残る厩あと

会津若松市 小山 孝

琴の音にあはす歌声雛の家

南相馬市 柴田 征子

江藤文子特選

北国の日射大事に蒲団干す

会津若松市 小山 孝

鰯干す太平洋の風を呼び

三春町 佐久間 阜

春あけぼの時計すこしづつ狂ふ

石川町 根本 世津

小沢比呂子特選

水害の新米粒に力あり

北茨城市 大塚 淳子

錆ぶるまま錨の黙やさくら咲く

南相馬市 遠藤 隆子

震災忌海の面に無の青さあり

南相馬市 宮本みさ子

甲田雅子特選

幕末の戊辰の秘話や菊人形

郡山市 吉田キヨ子

生も死もたつた一文字春寒し

三春町 佐久間秀男

西行庵花の奈落の片隅に

南相馬市 宮本みさ子

小山孝特選

冬大根引くに地球がしがみつく

本宮市 伊藤 霞城

牛の黙わが黙冬の深みけり
夏立つや森の香りの化粧水

小野市 佐藤 安憲
南相馬市 甲田 雅子

佐久間晃祥特選

湿原にひかり散らして梅の花
摘み草や原爰廃炉棟をちに
海見ゆる丘の慰霊碑花きぶし

郡山市 吉田キヨ子
田村市 橋本 研二
郡山市 影山美保子

高崎公久特選

プルタブの弾ける音よ建国祭
龍天に登る昭和の時計鳴る
牡丹粗朶花の記憶を束ねけり

浅川町 金澤 耕治
田村市 橋本 研二
郡山市 村越 知枝

高宮章一特選

歪みたる母の爪切る小春かな
ああ旨い祖母の口癖春の水

埜町 大友 康子
会津坂下町 齋藤 律子
田村市 橋本 研二

入学児一人開校百年余

田村市 橋本 研二

西山逢美特選

春がくる空の片隅濡れしまま
青年団法被で仕切る浜どんど
冬の虹まだ笑いたい学びたい

須賀川市 江藤 文子
郡山市 村越 知枝
棚倉町 山口 彌代

納谷一光特選

山笑ふ紙より薄き匏屑
入学児一人開校百年余
捨てし句を読み返すなり夜長かな

郡山市 斎藤万亀子
田村市 橋本 研二
西郷村 高宮 章一

橋本研二特選

満開の桜の中に廃校舎
要支援②となり窓に冬の蝶
春寒し両手に包む輪島椀

会津坂下町 佐藤 耐子
南相馬市 吉岡 サク
三春町 佐久間秀男

葉貫琢良特選

灯油きれ頼む電話にお辞儀する
人混みに周り気遣ひ咳止めり
畦塗つて豊かな風となりにけり

本宮市 石川 順子
本宮市 根本 昭吉
浅川町 金澤 耕治

古市文子特選

襷掛け祖母の張り付く梅筵
初日記母の教へを書き込みぬ
安達太良の嶺をおろがみ目張剥ぐ

北茨城市 大塚 淳子
南相馬市 柴田 征子
郡山市 横山 節哉

宮本みさ子特選

竜淵に潜む胃カメラ検査中

会津若松市 湯田 一秋

木偶小屋に鏡台一つ秋灯
連帯の不安と安堵蝌蚪の紐

いわき市 古市 文子
南相馬市 船橋まつ子

武藤主明特選

地虫出づ未明の地震に起こされて
母の分生きて九十路や桜咲く
沖縄忌過去も未来も盾となり

三春町 佐久間 阜
郡山市 川名 澄子
北茨城市 篠原 裕子

湯田一秋特選

この海に生くる証しの海苔を搔く
練馬終へ馬の背流す春の水
初夏の子山羊の耳の透けてをり

福島市 佐藤 和子
南相馬市 柴田 征子
郡山市 村越 知枝

横山節哉特選

薬売り途絶へて五年山萌ゆる
一茶忌や生家に残る厩あと
花散るやぼんやり鬱のはじまりぬ

郡山市 橋本 明
会津若松市 小山 孝
南相馬市 佐伯 律子

渡邊三子特選

春怒濤ひばりの歌の塩屋埼
安達太良の山巔白し連翹忌
雨止みて風新しく春立ちぬ

三春町 佐久間 阜
郡山市 加藤十美子
南相馬市 高倉 紀子

選者選高得点句

1位 廃校の校旗返納卒業す
2位 この海に生くる証しの海苔を搔く
3位 一茶忌や生家に残る厩あと
4位 牛の黙わが黙冬の深みけり
5位 夏立つや森の香りの化粧水
6位 抽出しに父の算盤終戦日
7位 亀鳴くや男やもめの針仕事
8位 入学児一人開校百年余
9位 牡丹粗朶花の記憶を束ねけり
10位 鰈干す太平洋の風を呼び
11位 春あけぼの時計すこしづつ狂ふ
12位 団子屋の醤油の匂ひ日脚伸ぶ
13位 冬大根引くに地球がしがみつく
14位 安達太良の山巔白し連翹忌
15位 錆ぶるまま錨の黙やさくら咲く
16位 手枕の父そつくりな昼寝かな
17位 初蝶のしばらく風に逆らはず

南相馬市 柴田 征子
福島市 佐藤 和子
会津若松市 小山 孝
小野市 佐藤 安憲
南相馬市 甲田 雅子
郡山市 斎藤万亀子
三春町 佐久間秀男
田村市 橋本 研二
郡山市 村越 知枝
三春町 佐久間 阜
石川町 根本 世津
本宮市 三坂 智子
本宮市 伊藤 霞城
郡山市 加藤十美子
南相馬市 遠藤 隆子
本宮市 伊藤 昭子
郡山市 上石みち子

18位 畦塗つて豊かな風となりにけり

浅川町

金澤 耕治

19位 闇に聞く冬の怒濤や能登想ふ

北茨城市

大塚 淳子

20位 震災忌海の面に無の青さあり

南相馬市

宮本みさ子